

所属	人間社会学部・人間形成学科	職名	講師	氏名	吉岡 和子
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2004年に九州大学大学院人間環境学府博士後期課程を満期退学。臨床心理士として、病院（精神科）、保健福祉センター、学生相談室などに勤務後、2006年10月に本学に着任。2007年2月に博士号（人間環境学）取得。

- ①対人関係における自己表出の在り方に関する研究
- ②アサーショントレーニング・プログラムの実践研究
- ③心理アセスメントを用いた強迫性障害理解のための研究

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

- ・福田恭介編（共著：吉岡和子・中山政弘・中藤広美・興津真理子・本多潤子・森下万貴子・村上ゆき・小嶋秀幹・木藤亜紀）（2011）「ペアレントトレーニング実践ガイドブックーきょうまくいく。子どもの発達支援」あいり出版。
- ・高橋紀子・吉岡和子編（2010）「心理臨床、現場入門ー初心者から半歩だけ先の風景」ナカニシヤ出版。
- ・吉岡和子・高橋紀子編（2010）「大学生の友人関係論ー友だちづくりのヒント」ナカニシヤ出版。

<論文>

- ・吉岡和子（2012）「ヒューマン・コミュニケーション授業の効果研究（2）」『福岡県立大学人間社会学部紀要』20（2），53-58.
- ・大和美季子・吉岡和子（2011）「きょうだいに対する劣等感と養育態度の認知との関連」『福岡県立大学人間社会学部紀要』20（1），61-69.
- ・木村舞子・小嶋秀幹・吉岡和子（2011）「保健・福祉系学部大学生に対するストレスマネジメント教育の効果ーストレスコーピングとアレキシサイミアとの関連ー」『福岡県立大学心理臨床研究』3，49-55.
- ・中藤麻紀・小嶋秀幹・吉岡和子・小林洋平（2011）「アルコール依存症のイメージ--共依存的傾向との関連」『臨床精神医学』40（7），971-978.
- ・高塚人志・河合康明・中野俊也・白石義光・吉岡和子（2011）「鳥取大学医学部におけるヒューマン・コミュニケーション授業の効果」『医学教育』42（5），277-281.
- ・中藤麻紀・小嶋秀幹・吉岡和子（2010）「保健・福祉系学部大学生の「アルコール依存症」についてのイメージー精神保健教育による変化ー」『福岡県立大学心理臨床研究』2，29-33.
- ・吉岡和子・福田恭介・中藤広美（2010）「保育・教育現場における特別支援へのペアレントトレーニングの応用」『福岡県立大学心理臨床研究』2，57-69.
- ・田中克江・吉岡和子・中村晋介・麦島剛・岩橋宗哉（2009）「中高年求職者に対する心理的支援プログラムの試みー「福岡県再就職応援セミナー」における効果の検討ー」『福岡県立大学心理臨床研究』創刊号，81-90
- ・吉岡和子（2009）「ヒューマン・コミュニケーション授業の効果研究（1）」『福岡県立大学人間社会学部紀要』18（2），43-51.
- ・菊浦友美・吉岡和子（2009）「青年期の対人関係における攻撃性の表出とアサーション及び自己評価との関連」『福岡県立大学人間社会学部紀要』18（2），53-63.
- ・實松寛晋・中尾智博・鍋山麻衣子・吉岡和子・富田真弓・森下睦子・中川彰子（2009）「社会不安障害における個人行動療法プログラムの開発」『メンタルヘルス岡本記念財団研究助成報告集』19，71-78.

②その他最近の業績

<学会報告>

- ・小嶋秀幹・内川玲子・吉岡和子（2011）：中学校教員の自傷行為をする生徒へのイメー

ジについての検討 第30回日本社会精神医学会

- ・富田真弓・河本緑・吉岡和子 (2011) : 強迫性障害の視覚認知機能の検討と治療前後比較— Rey-Osterrieth Complex Figure Testを用いて— 日本心理臨床学会第30回秋季大会
- ・高塚人志・河合康明・中野俊也・白石義光・吉岡和子 (2010) : 鳥取大学のヒューマン・コミュニケーション授業の効果— 対人関係, 話し方・聴き方, 自己受容に注目して— 第42回日本医学教育学会
- ・小嶋秀幹・中藤麻紀・吉岡和子・小林洋平 (2010) : アルコール依存症のイメージ— 共依存的傾向との関連— 第45回日本アルコール・薬物医学会
- ・Nakagawa Akiko, Yoshioka Kazuko, Nakao Tomohiro, Yamashita Yoko, Sanematsu Hirokuni, Isomura Kayoko, Tomita Mayumi, Kanba Shigenobu, Aoki Shozo (2010) : Symptom Structure in Japanese Patients with Obsessive-Compulsive Disorder. 40th EABCT Congress
- ・高塚人志・河合康明・中野俊也・白石義光・吉岡和子 (2009) 鳥取大学におけるヒューマン・コミュニケーション授業の効果研究— QOLL (Quality of life & Learning) を中心に— 第41回日本医学教育学会

<シンポジウム>

日本青年心理学会第19回大会 研究委員会企画シンポジウム「学校教育における児童期から青年期にかけての友人関係と青年の自己形成」 話題提供者 2011年.

<コラム>

- ・親と子の成長応援コラム「思春期の子どもとどう向き合う？」V-net Vol.28 2010年.
- ・「友人関係と居場所」日本青年心理学会 News Letter53, Pp.7-8 2010年.

③過去の主要業績

- ・富田真弓・吉岡和子・河本緑 (2008) 「強迫性障害のロールシャッハ反応の治療前後比較— 情緒体験の在り方に焦点を当てて」『ロールシャッハ法研究』第12巻, 日本ロールシャッハ学会.
- ・吉岡和子 (2007) 「友人関係での自己表出における葛藤」『心理臨床学研究』第24巻 第6号, 日本心理臨床学会.
- ・吉岡和子 (2001) 「友人関係の理想と現実のズレ及び自己受容から捉えた友人関係の満足感」『青年心理学研究』13巻, 青年心理学会.

3. 外部研究資金

文部科学省 平成23年度科学研究費補助金(基盤研究C)「強迫性障害の前向き長期予後研究」
¥1,040,000 課題番号: 22591289 (平成22年度—23年度)

4. 受賞

5. 所属学会

日本青年心理学会研究委員会・委員
九州臨床心理学会 日本人間性心理学会 日本青年心理学会 日本心理臨床学会
日本教育心理学会 日本ロールシャッハ学会 日本パーソナリティ心理学会
日本精神分析学会 各会員

6. 担当授業科目

<学部> パーソナリティ論/人格心理学・2単位・1年・後期, カウンセリング・2単位・4年・前期, 家族心理学・2単位・4年・前期, 教育相談(幼児教育)・2単位・4年・前期, 演習・2単位・3年後期・4年前期, 卒業論文・6単位・4年・後期
<大学院> 臨床心理基礎実習・2単位・1年・通年, 臨床心理面接特論・2単位・1年・前期, 臨床心理査定演習・2単位・1年・後期, 臨床心理実習(学内)・1単位・2年・通年, 臨床心理実習(施設)・1単位・2年・前期

7. 社会貢献活動

- ・NPO法人九州大学こころとそだちの相談室 理事

- ・福岡教育大学 心理査定委託相談員
- ・福岡女学院大学 心理査定委託相談員

8. 学外講義・講演

- ・NPO福祉用具ネット研修会「アサーション研修会 パート1 より良い人間関係をつくるためには～ご利用者様やご家族とのコミュニケーション～」5月28日
- ・産業カウンセラー養成講座「心理アセスメント」6月25日・6月26日・7月2日・7月10日（4会場）
- ・NPO福祉用具ネット研修会「アサーション研修会 パート2 より良い人間関係をつくるためには～職場や他職種とのコミュニケーション～」7月16日
- ・NPO法人九州大学こころとそだちの相談室 ロールシャッハ研修会講師 7月～3月（計7回）
- ・平成23年度教職免許状更新講習会「『子どもの心』をはぐくむための関わり方」（岩橋宗哉准教授と分担）8月24日
- ・福岡雙葉高等学校 出前講座「自分も相手も大切に作るコミュニケーション」8月24日・9月22日（計2回）
- ・人権相談従事職員研修カリキュラム「面接技法講座 人権相談Ⅲ（対人援助）」9月15日・9月27日（計2回）
- ・福岡県市町村職員研修所 新規採用職員研修 「メンタルヘルス」 9月26日・9月28日（計2回）
- ・小倉西高校 出前講座「性格検査で自分を知ろう」11月15日

9. 附属研究所の活動等

<生涯福祉研究センター> 兼任研究員

- ・お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）の企画と運営
- ・特別支援教育を行うためのスキルアップ・プログラムの企画と運営
- ・さわやかな自己表現塾の企画と運営